



coatmaster

measure up. contactless.

coatmaster Flex

コーティング厚さを非接觸で測定する次世代のソリューション



特許取得済
の新技術

- 特許取得済みの新技術
- 非接触かつ非破壊で塗工膜厚測定が可能
- 塗工色の影響を無視した測定が可能
- バッテリー駆動のハンディ型で、高精度測定が可能
- 使用者を選ばない簡単操作
- 測定結果は自動的にクラウドに保存され、どこでも確認可能

『CoatmasterFLE（コートマスターflex）』は、光熱放射法技術に基づいた次世代膜厚計です。金属、樹脂、紙、木材、コンクリート…など、多種多様な基材上の塗工膜厚測定が可能です。また、塗工色の影響もほぼ受けません。非接触、非破壊で塗工膜厚測定が可能となります。測定データはクラウドで管理され、いつでもどこでも測定結果を確認できます。

測定原理

コートマスター®は、Thermal Layer Testing (TLT) の原理を使用しています。可視光（キセノン光）の照射によりコーティングの表面を加熱します。加熱により赤外線(熱)が発生します。この赤外線を赤外線センサーで捉えます。可視光の照射から赤外線が発生する時間を独自のアルゴリズムを用いて厚みに換算します。



- ①フラッシュランプ
- ②加熱
- ③コーティング層
- ④基材
- ⑤赤外線の放射（輻射熱）
- ⑥赤外線センサー

主な仕様

硬化粉末/乾燥塗装 厚み範囲	10 – 500 µm
乾燥前のWet塗装 厚み範囲	10 – 300 µm
硬化前の粉体塗装 厚み範囲	10 – 300 µm
測定時間	20 msから
距離許容値	2 – 15 cm
傾き許容値	± 70°
移動製品の測定	可能
相対標準偏差	< 1 %
任意の色（白を含む）の塗装の測定	可能
ERPやブラウザを介したリアルタイムのデータアクセス	可能
重量（バッテリー無し）	1.3 kg
寸法	374 x 91 x 203 mm

すべてのデータは、一般的なコーティングのシステムに対して有効です。

正確な測定レンジは、コーティング材料の物理的性質に依存します。



リワークなどの無駄作業回避

プロセスにおける不具合を早い段階で検出し修正する事が可能になります。



リワークなどの無駄作業回避

プロセスにおける不具合を早い段階で検出し修正する事が可能になります。



材料の節約

材料の消費量を最大30%削減する事が可能です。

これにより費用の節約と環境に寄与します。

CORNES
Technologies

コーンズ テクノロジー株式会社

産業機材部 検査・飲料機材チーム

〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 コーンズハウス

東京本社 Tel: 03-5427-7560 担当: 奥田、中村

大阪営業所 Tel: 06-6532-1017 担当: 西上 (にしがみ)

<http://www.cornestech.co.jp/> ctl-inspection@cornes.jp